学校番号	1302

令和８年度　（学）ビジネススキル科

教科	（学）ビジネススキル	科目	（学）ＩＴの活用	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	プリント・canva・Google クラスルーム・Google フォームなど						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

身の回りにある IT 機器や IT 技術について学び、日々利用している機器や技術に対して、理解を深め、よりよい使い方を考えましょう。
課題には必ず意味があります。課題から得られた経験や技能、知識が情報社会に参画するための能力につながっています。投げ出さずに課題は積極的にしっかり参加しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段やアプリケーションソフトウェアにかかわる基礎的な知識と技術を習得できるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
身の回りにある IT 機器や IT 技術を適切かつ効果的に活用する方法を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
実際に IT 機器や IT 技術を活用する能力と態度を育成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報の各分野に関する基礎的･基本的な知識を身に付け，現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。情報分野の諸活動を合理的に計画し，その技術を適切に活用している。	情報の各分野に関する諸課題の解決を目指して思考を深め，基礎的･基本的な知識と技術を基に，情報産業に携わる者として適切に判断し，表現する創造的な能力を身に付けている。	情報の各分野に関する諸課題について関心を持ち，その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに，実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	コンピュータの種類と構成	コンピュータの種類と特性 コンピュータの基本構成 データ表現論理演算 コンピュータの動作原理	a:コンピュータの種類と構成についての理解ができている b:コンピュータの種類と構成についての違いをもとに自ら構成することができる c:コンピュータの基本的な内容について粘り強く取り組むことができる	小テスト	小テスト	提出物 観察
	アプリケーションソフトの活用	オフィスソフトを活用して課題に取り組む	a:アプリケーションソフトの基本的な操作をできる b:アプリケーションソフトの基本機能を使用して自ら内容構成し制作することができる c:課題内容について粘り強く取り組むことができる	小テスト	小テスト 提出物	提出物 観察
	ITを活用したグループワークの企画	グループ別に IT を活用した授業企画を立案、プレゼンテーションソフトや事後アンケートの作成を行う	a:IT の活用方法を理解している。プレゼンテーションソフトやアンケートシステムの操作を理解している。 b: IT を活用した企画をグループ内でまとめ、適切に表現することができる。 c:標準化の有用性を認識し、粘り強く取り組むことができる	定期考査 小テスト	定期考査 小テスト	提出物 観察
2	ITを活用したグループワークの実践	各グループが企画した内容を発表し、実践する	a:自らのグループの内容がどのように IT を活用しているか理解している b:ほかのグループの生徒に内容を具体的にわかりやすく発表できる。また、わかりやすいスライド資料を作成できる。 c:IT の有用性を認識し、粘り強く取り組むことができる。参加者のアンケート結果をもとに改善を図ることができる。	小テスト 発表内容	アンケート	アンケート 観察

3	IT を活用したグループワークの実践	各グループが企画した内容を発表し、実践する	a:自らのグループの内容がどのように IT を活用しているか理解している b:ほかのグループの生徒に内容を具体的にわかりやすく発表できる。また、わかりやすいスライド資料を作成できる。 c:IT の有用性を認識し、粘り強く取り組むことができる。 参加者のアンケート結果をもとに改善を図ることができる。	小テスト 発表内容	アンケート 振り返り課題	アンケート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度